

Art journeyからネーミングした「えいじゃに」では、「文化産業交流会館」とびわ湖芸術文化財団「地域創造部」からのイベント情報を発信します。気軽にArtの旅を楽しんでください。

長栄座15年の歩み



長栄座は、明治16年(1883年)、長浜市元浜町に創設された木造建築2階建ての800名を収容する大規模な劇場で、歌舞伎、落語、芝居など幅広く興行されており、昭和33年(1958年)まで現存していました。

滋賀県立文化産業交流会館では、豊かな歴史的・文化的資源を有する湖北において、特色ある優れた舞台芸術をご覧いただき、伝統文化を次世代へと受け継いでいくことを目的に、平成23年(2011年)8月よりイベントホール内に期間限定で特設舞台「長栄座」を復活させ、これまでに様々な公演を開催し、令和7年(2025年)で15年目を迎えます。

Table with 2 columns: Year and Performance Title. Lists performances from 2011 to 2024.

これまでの古典芸能プロデュース公演

ユースシアター10年の歩み

年齢・居住地域の異なる参加者がコミュニケーションを深め、表現力や想像力を育んでもらうことを目的に平成28年(2016年)より開始。県内の小学生から25歳までの若者を公募し、オリジナルの演劇・ミュージカル制作を行ってきました。

Timeline of Youth Theater productions from 2016 to 2025, including titles like '森は生きている' and '近江むかしがたり'.

令和7年度、文化産業交流会館では、

「長栄座」公演15年目 「ユースシアター」公演10年目

を迎えます!

長栄座15年に寄せて

「長栄座」の軌跡と今後の夢

森西真弓 (大阪樟蔭女子大学名誉教授、元「上方芸能」編集代表)

かつての長栄座は明治維新後、全国各地にたくさん建設された芝居小屋の一つで、上方歌舞伎の大立物たちが来演した記録が残っているという。その後、他の多くの芝居小屋と同じように、映画館に転じた後、閉館した。



森西真弓

その名前を受け継いで、平成23年(2011年)に文化産業交流会館のイベントホールに期間限定の特設舞台として復活された。私が公演を見せていただいたのは、ここ三年だけだが、過去に行われた資料を拝見すると、一流の演者を引き、古典をそのまま上演するだけでなく、異分野コラボや新作、新振付など斬新な企画や新しい試みがなされ、大きな成果を挙げてきたことがわかる。

湖北は、邦楽器に用いられる糸の生産地として知られ、古典芸能とは深いつながりのある土地柄。長浜曳山祭の子ども歌舞伎や富田人形浄瑠璃などの民俗芸能も盛んだ。そんな背景から文化産業交流会館の事業として、他都市ではあまり例を見ない、邦楽演奏家の育成や発表会が行われ、成果は先の長栄座公演でも披露されてきた。

一方で、建物が現存している芝居小屋もあって、西日本では四国の金丸座、内子座、九州の嘉穂劇場、八千代座、兵庫県の永楽館などが知られている。金丸座で「こんびら歌舞伎大芝居」が実施されて以降、芝居小屋の良さが再評価され、他の劇場でも大歌舞伎の俳優たちが出演するようになっていった。「全国芝居小屋会議」という組織ができて、劇場同士の交流も続いている。

そんな中で復活長栄座はハードを持たず、ソフト面で勝負してきた。内容は充実しているが、それをどう発信していくか。たとえば私は、金丸座、内子座、永楽館へ芝居を見に行ったが、一泊して近隣を観光した。米原の近くには長浜や彦根といった有名な観光地がある。そこでのタイアップでツアー旅行などを企画すれば、さらに観客を増やすことができるのではないかと。びわ湖ホールに全国からオペラファンが足を運ぶように、新・長栄座にも全国から古典芸能ファンがやって来る日を夢見ている。

ユースシアター10年に寄せて

ごまのはえ (ニットキャップシアター代表)

ユースシアター10周年おめでとうございます。たくさん思い出はありますが、鮮明に覚えているのは、最初の年、会館側の発案で、地元企業からフォークリフトを借りて舞台を走らせようとしたことです。残念ながら安全面と排気ガスの問題で取りやめになりましたが、お借りしたフォークリフトは舞台美術の一つとして異彩をはなっております。当時も今も、あれはムチャな計画だったと思います。でもそういう無茶だったり無鉄砲だったりするエネルギーってわりと大事だとも思います。いつの時代も、どんな組織でも何かをやりたがる人は、時におっちょこちよい扱われたり、時に「いいしっぺ」と言われて軽んじられる場合もありますが、そういう人がいないと何もはじまりません。ユースシアターが10年続いているのは、参加者それぞれを支える保護者の方の熱意が何より大きいと思いますが、企画実施を担う大人のなかに「やりたい!」と思う人がいること、そしてその人を支える人がいることも大きいのではないのでしょうか。これからも「やりたい!」人が沢山いる湖北でありますように。10年間お疲れ様でした。これからも頑張ってくださいませ。



ごまのはえ

中嶋花凛 (新高校3年生、8年間継続参加者)

小学4年生の時、出演者募集チラシを見て「これだ!」と感じ、「美味しいメロディ 改」から参加しました。本番に挑む緊張感、達成感、お客様の拍手など、舞台公演を通じてしか得られない感覚にハマり8年間続いています。印象深いのは「森は生きている」2回目の娘役。衣裳や舞台セットも素敵だったし、花道できっかけとなる台詞の呪文を唱えると場面が展開し、視線が自分に集まることに興奮しました。この娘役を観て、次の年に「一緒にやりたいから参加した」という子が現れたのも嬉しかったです。4人の演出家の指導もそれぞれ。「教室くん」の時、私は恥ずかしくて演技が小ぶりになっていたのですが、演出家のごまのはえさんに「殻を破らんと意味ないで」と言われ、意識が変わりました。最近では、将来は舞台俳優になりたいという夢も芽生えはじまりました。



中嶋花凛



「森は生きている」で娘役の中嶋さん(中央)

令和7年度の「長栄座」、「ユースシアター」公演

「長栄座」公演 「湖北百景-羽衣舞う余呉」 8月11日(月・祝) 14:00開演
公演を通じて湖北の魅力に触れていただけたらと3年計画で「湖北百景」と題した古典芸能公演を開催。今年は、余呉に伝わる「羽衣伝説」に着目し、能楽組曲「余呉」と題した新企画をお届けします。

「ユースシアター」公演 「近江むかしがたり 其の三」 12月21日(日)14:00開演
公募によるユース世代の出演者たちが、湖北地域の民話を綴った物語を、邦楽の音色とともに熱演します。

祝・「長栄座」15年おめでとうございます

野村祐子 (筆曲正社社二代家元、名古屋芸術大学客員教授)

振り返りますと平成23年(2011年)7月、滋賀県三曲協会主催の新曲講習会に招かれた私は、そこで一風変わったチラシを目にしました。

【明治の芝居小屋「長栄座」復活事業〜こけら落とし・納涼公演】

滋賀県が誇る人間国宝・山本邦山、常磐津一巴大夫両師に現代邦楽、舞踊等、誰しもの目を惹くプログラムは垂涎もの。それにしても「長栄座」復活って何?不思議な公演!まさかその後、私が関わることになるとは想像もつきませんでした。

芝居小屋「長栄座」復活事業の初代プロデューサー・柴田英紀さんは「邦楽を志す若手の登竜門(NHK邦楽技能者育成会)が55期で終了、これに替わる養成機関として東西から集まりやすい滋賀県で邦楽邦舞実演家養成事業を。」と熱く、これは私たち邦楽人への朗報。かつて邦楽界を一世風靡した作曲家、長澤勝俊・藤井凡大両氏の作品を主に取り上げ、また、東日本大震災後でしたので藤井氏作曲「東北のわらべ唄」を養成事業受講生とともに次の公演で上演。受講生はこの後、滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」へと成長していきます。

次の演出家の前原和比古氏からは「新しい伝統を作りましょう。ぜひ新作を。」と力を込め和洋舞踊、能、狂言、コーラスなどと共演の作曲を依頼されました。「近江羽衣抄」「モグラの婿取り」「滋賀の地酒祝い歌」「淡海の糸」「令和の鳥獣戯曲」など滋賀県に因む民話を題材に、氏曰く「無茶ぶり」の夢の舞台でした。

続く演出家の中村豊氏からもさらに壮大な3年計画「長栄座伝承会 むすび」で、自ら作詞の「まいばらはつ各駅停車の旅」作曲の声がかかりました。これは琵琶湖線、東海道本線、北陸本線の各駅を題材にした組曲となり「しゅはり」は箏三絃のほか小道具にも大活躍。公演には舞楽、フラダンス、尺八古典本曲、長唄、能、落語、現代舞踊...と多彩な演目並び、東西超一流の伝統芸能をお得な入場料で味わえるという、お客様にとっては誠に有難い空前絶後の機会。東西の要衝・米原ならではの出会いの場でありました。芝居小屋「長栄座」が今後も長く栄えますよう願っております。



野村祐子

地域創造部情報

令和7年度 滋賀県アートコラボレーション事業

びわ湖ニオーストリア・ブルックナー管弦楽団(BABO) 第2回演奏会 ブルブル・プロジェクトVol.2
プレコンサート
レクチャー&コンサート



びわ湖とオーストリアのご縁(形がそっくり)をきっかけに昨年生まれたBABOプロジェクトが「ブルックナーに感動で」ブルブル・プロジェクトとして、さらにパワーアップして開催します。プレコンサートではブルックナーにより親しんでいただくためのレクチャー&ミニコンサートを開催します!

Table with 4 columns: Date, Venue, Price, Program. Details for BABO concert.

本公演は9月7日(日)、同会場にて、開催いたします!詳細はお問い合わせください。
お問合せ BABO事務局 TEL.070-9124-0923(大石)

狂言であそぼ

出演者募集

〜ひがしおうみ狂言・わくわく体験2025〜

日本伝統の喜劇「狂言」のワークショップを受けて、舞台に出演してみませんか? 「菌(くさびら)」という楽しい演目で、きのこを演じる方を募集予定です。茂山千五郎家との共演で、楽しいひとときをすごしましょう!

Table with 4 columns: Date, Venue, Cast, Ticket. Details for Kyogen performance.

募集情報はお問い合わせください。
お問合せ 東近江市てんびんの里文化学習センター TEL.0748-48-7100

アートと地域のためのパフォーマンス・プロジェクト
〜ヴォーリズ建築で奏でる音楽の調べ Part.1〜

滋賀県に所縁のある若手音楽家たちがプロデュースを行い、県内に点在するヴォーリズ建築で演奏会を開催します。

Table with 4 columns: Date, Venue, Cast, Price. Details for Vollerz concert.

料金 一般2,000円 青少年(24歳以下)1,000円 チケット発売日 5月17日(土)
お問合せ (公財)びわ湖芸術文化財団地域創造部 TEL.077-523-7146

10-12月に「吉田悦蔵邸(近江八幡市)」「旧水口図書館(甲賀市)」を予定

季刊誌 湖国と文化 第191・春号
特集 近江の宙〜国友一貫齋と山本一清

さまざまな「科学する心」を育んできた近江。天文学の分野でも、日本で初めて反射望遠鏡を作った国友一貫齋、星の魅力を広く伝えて「アマチュア天文大国」の礎を築いた山本一清、二人の巨星が湖国出身です。資料の整理・研究により再評価が進む二人を通して、近江の科学技術力の一端をお伝えします。新連載「近江の里の仏たち」、特別寄稿「井筒屋駅弁の135年」など話題満載です。

2025年4月1日発売予定
<販売価格> 660円
<取り扱い> 県内書店、びわ湖ホールシアターショップ、滋賀県立文化産業交流会館 など
<お問合せ・購入申込>
びわ湖芸術文化財団 地域創造部
「湖国と文化」編集室 (TEL.077-523-7146)
「湖国と文化」191号

